

## 執筆者紹介

---

### 中村 哲〔玉川大学観光学部准教授〕

1972年埼玉県生まれ。1995年立教大学社会学部卒業。民間企業勤務を経て、2002年立教大学大学院観光学研究科博士課程後期課程単位取得。2002年4月より敬愛大学経済学部専任講師、2010年4月より玉川大学経営学部准教授、2013年4月より現職。2009年4月より立教大学観光学部兼任講師。観光学術学会ならびに日本観光ホスピタリティ教育学会の編集委員を務める。

主な共著書に『観光行動論』（原書房、2013年）、『観光入門』（新曜社、2011年）、『変貌する千葉経済』（白桃書房、2011年）などがある。現在、メディアによる情報が観光地のイメージ形成に及ぼす影響についての研究にも取り組んでいる。

### 西村 幸子〔同志社大学商学部准教授〕

1973年大阪府生まれ。1995年同志社大学商学部卒業。1997年同志社大学大学院商学研究科博士課程(前期)修了。1999年英国University of SurreyにてMSc in Tourism Planning and Development 取得、2004年豪州Victoria UniversityにてPhD取得。2007年4月より同志社大学商学部専任講師、2011年4月より現職。

主要論文に「消費者主導型観光の時代」（井口貞編『観光学への扉』学芸出版社、2008年）、「The Use of Guidebooks by Japanese Overseas Tourists: A Quantitative Approach」（Waryszak, R.Z., King, B.との共著）、*Journal of Travel Research*, 45 (3), 275-284, 2007など。現在、「観光旅行のヘビーリピーター」の研究も行っている。

### 高井 典子〔文教大学国際学部准教授〕

1963年大阪府生まれ。1987年同志社大学法学部卒業。商社勤務を経て、1996年英国University of SurreyにてMSc in Tourism Studies取得、2007年同University of ReadingにてPhD取得。1997年4月より英国暁星国際大学専任講師、2002年4月より国際大学大学院専任講師、2010年4月より現職。日本観光研究学会理事。

主要論文・著書に“The Dialectics of Japanese Overseas Tourists: Transformation in Holidaymaking”, *Tourism Review International*, 11 (1), 67-83, 2007、『訪日観光の教科書』（赤堀浩一郎との共著、創成社、2014年）などがある。観光の場を通じた異文化体験による個人の国際化に関心がある。